

<発表資料>

2024年4月10日 24038

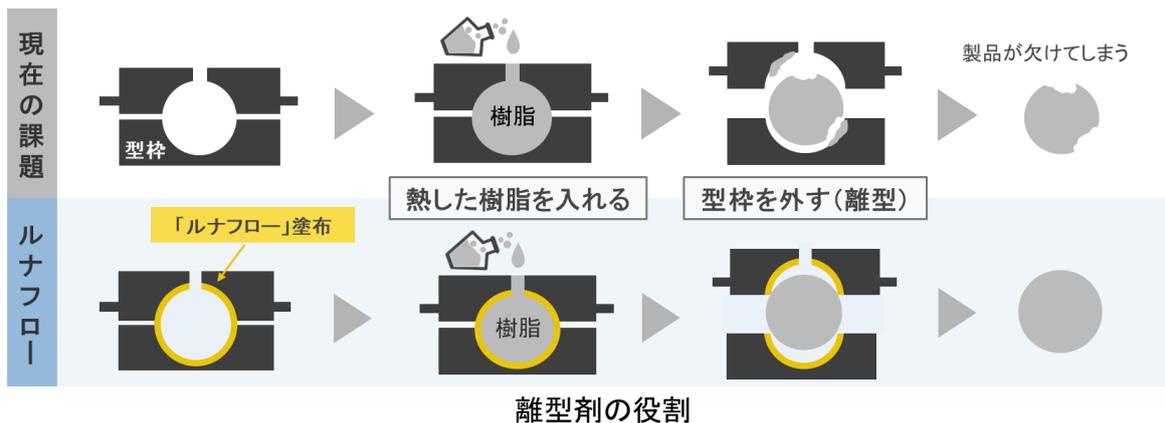
“すべる表面”を持続させる水系離型剤「ルナフロー」発売 ～セルロースナノファイバーを活用した新発想のコーティング剤～

花王株式会社(社長・長谷部佳宏)は、ゴムや樹脂製品の製造時に、製品を型枠からスムーズにとり外すための離型剤「ルナフロー RA」を2024年5月に発売します。「ルナフロー RA」は、最先端バイオマス素材のセルロースナノファイバー(CNF)を材料として活用し、優れた離型性と一度塗布すれば繰り返し使用できる持続性が特長です。製造工程での作業性向上が期待でき、かつ溶剤フリー・フッ素フリーで環境と作業者の両方にやさしい製品設計となっています。

動画:[離型剤「ルナフロー RA」の紹介](#)

1. 背景

セルロースナノファイバー(CNF)は、木材などから得られる繊維をナノレベルまで微細化した最先端のバイオマス素材です。鋼鉄の5分の1の軽さで5倍の強度を持つなどの優れた特長から、自動車や建築の材料などに活用されています。花王は、CNFを使いやすくコントロールする技術(疎水化技術)*¹を保有しており、ユーザーの目的や用途ごとにカスタマイズしたCNFを販売してきました。また、2021年にはCNFと潤滑油を組み合わせることで、塗布した対象面をウツボカズラの袋内部のように“すべる表面”にする技術(滑液表面技術)*²を確立しています。このたび、今までの知見や技術を応用した離型剤「ルナフロー RA」の販売を開始します。



- *1 2020年6月5日 花王ニュースリリース [セルロースナノファイバーの疎水化技術を活かし、複合高機能樹脂『LUNAFLEX\(ルナフレックス\)』の提供を開始](#)
- *2 2021年10月27日 花王ニュースリリース [塗布するだけで付着せずにすべり落ちる表面を作り出す新たなコーティング剤の技術を開発](#)

2. 製品概要

ゴムや樹脂製品を型枠で成型する際、流し込んだ材料が型枠に接着してしまうと、作業性低下や不良品発生につながります。あらかじめ型枠の内側に塗布することで、型枠と材料との間に薄膜を形成し、両者の接着を防ぐ役割を果たすのが離型剤です。昨今の製品の小型化や複雑化によって需要は増加しており、高機能かつ、頻繁な塗り直しが不要な製品が求められています。

「ルナフロー RA」は、独自技術で高い油保持性を持つようにコントロールした最先端素材の CNF を材料として活用することで、優れた離型性と持続性を実現しました。また、溶剤フリー・フッ素フリーの製品設計にしたことで、環境と作業者の両方にやさしい製品となっています。

製品名	ルナフロー RA
用途	ゴム・樹脂用離型剤
発売時期	2024年5月
販売地域	日本および海外

3. まとめ

離型に課題を抱える業界のニーズに応え、課題解決を後押しできる製品を提案するとともに、ゴム・樹脂だけでなく、幅広い素材に適応可能な製品の開発もめざします。また、将来的には、CNF を活用した“すべらせる技術”を応用して、汚れを付きにくくする製品への展開も視野に入れて、取り組んでいく予定です。

関連情報

- ・ [塗布するだけで付着せずにすべり落ちる表面を作り出す新たなコーティング剤の技術を開発](#)
- ・ [ケミカル事業の製品ページ](#)

<お問い合わせ>

[花王株式会社 ケミカル事業部門お問い合わせ](#)